

青森でつながる

—子どもの貧困をみんなで考えよう—

子どもの貧困対策 全国47都道府県キャラバン in 青森

公益財団法人あすのぼが全国で展開してきたキャラバンが、青森県へ。
弘前大学「子どもの貧困」プロジェクトとともに、当事者の若者の声を聴きながら、
青森県の子どもの貧困について、皆さんと一緒に考え、語り合う場をつくります！



2019年
7月28日(日)
13時~17時

リンクステーション
ホール青森
中会議室

青森市
堤町1-4-1
☎ 017-
773-7700

プログラム

- 主催者挨拶 弘前大学「子どもの貧困」プロジェクト代表 吉田美穂
公益財団法人あすのぼ参与 柳瀬和夫
- 共催者挨拶 青森県健康福祉部長 有賀玲子
青森県子どもの生活実態調査報告 青森県健康福祉部こどもみらい課長 久保杉嘉衛
青森県教育委員会の取組 青森県教育庁学校教育課主任指導主事 三和明久
- パネルディスカッション「当事者の声を聴きながら一緒に考えよう」
コーディネーター 吉田美穂(弘前大学教職大学院准教授)
パネリスト 金澤拓紀(子ども・若者サポート「つがる・つながる」代表)
花澤昂乃(慶応義塾大学4年、あすのぼ若者理事)
平間恵美(特定非営利活動法人「はちのへ未来ネット」代表理事)
山田まり子(青森県スクールカウンセラー)
- 交流会 支援者・子ども・学生・学校関係者・自治体担当者・県民による意見交換
ファシリテーター 弘前大学教職大学院生ほか

主催:弘前大学「子どもの貧困」プロジェクト、公益財団法人あすのぼ 共催:青森県
後援:内閣府、弘前大学教職大学院、青森県教育委員会、青森県社会福祉協議会、青森市、青森市教育委員会、鱒ヶ沢町、今別町、
田舎館村、板柳町、大鰐町、大間町、おいらせ町、風間浦村、黒石市、五所川原市、五戸町、佐井村、三戸町、七戸町、
新郷村、外ヶ浜町、田子町、つがる市、鶴田町、十和田市、東北町、中泊町、南部町、西目屋村、野辺地町、八戸市、
階上町、弘前市、平川市、平内町、東通村、深浦町、藤崎町、三沢市、むつ市、蓬田村、横浜町、六戸町、六ヶ所村 ほか予定
助成:公益財団法人キリン福祉財団

応募方法 あすのぼウェブサイト内の申込フォームへ

<https://www.usnova.org>

電話・メールでの応募も可 ※裏面FAX参加申込書
参加費/無料 定員/150人

お問い合わせ/公益財団法人あすのぼ 〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-6 河村ビル6F

☎ 03-6277-8199 FAX 03-6277-8519 ✉ info@usnova.org

弘前大学「子どもの貧困」プロジェクト 弘前大学 吉田美穂研究室

☎ & FAX 0172-39-3398 ✉ m-yoshida@hirosaki-u.ac.jp



F A X
(送り状不要)

FAX 03-6277-8519

FAX・ウェブサイト・メールなどでお申し込みください。

E-mail info@usnova.org WEB www.usnova.org

子どもの貧困対策 全国キャラバンin青森 参加申込書

日時:2019年7月28日(日) 13時～17時

会場:リンクステーションホール青森 中会議室

(〒030-0812 青森県青森市堤町1丁目4-1)

ふりがな

お名前

お住まいの市町村

電話

FAX

E-mail

弘前大学「子どもの貧困」プロジェクト

正式名称を、弘前大学「子どもの貧困」をめぐる地域・学校・自治体の連携・協働推進プロジェクトと言います。2017年に、弘前大学教職大学院の吉田美穂(准教授)・教育学部の松本大(准教授)の呼びかけにより発足、社会福祉関係者、スクールソーシャルワーカー、小中学校の校長先生、地域の支援者などが立場を超えて集まり運営しています。

主な活動は、青森県の「子どもの貧困」を学び、支援に向けてともに考える場をつくることです。2017年度には、青森市で共同学習会、弘前市でシンポジウム、2018年度には、青森市でシンポジウム、弘前市で連続講座を開催してきました。いずれの企画にも、地域の支援者、学校の先生方や事務職員、福祉関係者、スクールソーシャルワーカー、関心をもつ市民の皆様など、多くの方々にご参加いただきました。こうした活動を通じて、これからも、青森県で「子どもの貧困」支援に向けた、顔の見えるネットワークをつくっていききたいと考えています。

予告 弘前大学「子どもの貧困」プロジェクト主催 **子どもの貧困への支援を考える連続講座**

9月29日(日)・11月24日(日) 9:30～12:30 弘前大学教育学部1F 中教室

お問い合わせ先 弘前大学・吉田美穂研究室 m-yoshida@hirosaki-u.ac.jp ☎ & FAX 0172-39-3398

公益財団法人あすのば

子どもの貧困対策法成立から満2年を迎えた2015年6月19日に、子どもの貧困対策センター「あすのば」は設立・誕生しました。あすのばは、「明日の場」とともに「US(私たち)」と「NOVA(新しい・新星)」という意味もあります。子どもたちが「ひとりぼっちじゃない」と感じてほしいという「私たち」と一緒だよという願い。そして、多くの人に子どもの貧困問題が他人事ではなく自分事を感じてほしいという「私たち」でもあります。みんながつどう「場」であってほしいですし、すべての子どもたちが明日に希望を持って、輝く新星のような人生を送ってほしいという願いも込めています。あすのばの事業は、①調査・研究とそのデータなどに基づいた政策提言、②全国の支援団体の活動が持続し発展できるような支援団体への中間支援、③子どもたちの自立のために物心両面で子どもたちへの直接支援、の3本柱を担います。

全国キャラバンは、2016年度は、沖縄県・兵庫県・高知県・長野県・栃木県・山形県で開催し、650人が参加。2017年度は千葉県・富山県・熊本県・京都府・山口県・香川県・岐阜県・長崎県・福島県で開催し878人が参加しました。2018年度は岩手県・神奈川県・石川県・奈良県・三重県・静岡県・山梨県・広島県・東京都・佐賀県の10都県で、合計932人が参加しました。2015年度の交流会を含め、これまで31都道府県で2,811人が参加されました。